



Corporate Report  
**2016**

日清オイリオグループ  
コーポレートレポート

コーポレートステートメント

# “植物のチカラ”<sup>®</sup>

すべては、“植物のチカラ”<sup>®</sup>から。

日清オイリオグループのコーポレートステートメントは“植物のチカラ”。

わたしたちの事業は、植物資源の可能性を最大限に引き出し、

人々の生活をさらに豊かにすることです。

植物がもつ3つのチカラ、

「おいしくするチカラ」「健康にするチカラ」「美しくするチカラ」は、

人や事業を動かすチカラでもあるのです。

わたしたちの行動と事業のベースは、

常に“植物のチカラ”<sup>®</sup>です。

## 目次

- |    |                                   |    |                     |
|----|-----------------------------------|----|---------------------|
| 3  | トップメッセージ                          | 20 | 安全・安心のために           |
| 4  | 日清オイリオグループのあゆみ                    | 22 | 原料調達における取り組み        |
| 5  | 日清オイリオグループの事業                     | 23 | 株主・投資家との対話          |
| 6  | 発見! 日清オイリオグループ                    | 24 | 人材の育成と活用            |
| 8  | 日清オイリオグループの<br>バリューチェーン           | 26 | 環境のために              |
| 10 | 特集1<br>スーパーエナジー中鎖脂肪酸              | 28 | 地域社会との共生            |
| 12 | 特集2<br>日清オイリオグループの<br>グローバルネットワーク | 30 | CSRデータ              |
| 14 | 日清オイリオグループのCSR                    | 32 | 財務データ               |
| 17 | ステークホルダーダイアログの開催                  | 34 | 会社概要                |
| 18 | マネジメント                            | 36 | 第三者意見               |
|    |                                   | 37 | 植物油とビタミンの<br>おいしい関係 |

## 編集方針

「コーポレートレポート」は、当社グループの概要や中期経営計画、財務情報や企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)として1年間取り組んだ活動について、特にステークホルダーの皆様にお伝えしたい内容を掲載していません。また、当社グループの事業活動に関する定量データを3年分掲載した「CSRデータ集」や、そのほかのCSR関連情報は当社のホームページで開示しています。本冊子とあわせてご覧ください。

## 報告対象範囲

● **対象期間** 2015年4月1日～2016年3月31日 一部に当該期間外の取り組みが含まれています。組織・役職名は2016年6月末現在のものを記載しています。

● **対象範囲** 日清オイリオグループ株式会社と連結子会社(国内・海外)を含むグループ全体を対象としています。ただし、環境パフォーマンスデータと一部の取り組みについては、日清オイリオグループ株式会社単体を対象としています。(報告書中での表記について、日清オイリオグループ株式会社単体を「当社」、日清オイリオグループ株式会社と連結子会社[国内・海外]を含むグループ全体を「当社グループ」としています。)

## 発行

2016年7月(次年度:2017年7月予定)

## トップメッセージ 「おいしさ・健康・美」の 追求を通して、 社会に貢献します。



日清オイリオグループは、創業以来100年以上の長きにわたり、植物が持つ3つのチカラ、「おいしくするチカラ」「健康にするチカラ」「美しくするチカラ」を最高の技術によって引き出し、世の中にお届けしてきました。

2016年度は、2014年度にスタートした3か年の中期経営計画の最終年度として、国内油脂事業を中心とする収益改善に継続的に取り組むとともに、グローバル戦略を中心とした加工油脂事業・ファインケミカル事業の拡大を進めるなど、目標とする連結経常利益90億円の達成に向け、スピード感を持って事業に取り組んでまいります。

超高齢化社会といわれる日本において、高齢者の低栄養の問題など、現代社会には簡単には解決できない問題が数多く存在します。当社は、40年以上にわたって研究・開発に取り組んできた中鎖脂肪酸をはじめ、100年以上の長きにわたって培ってきた技術を活かし、社会課題の解決に取り組んでいきます。中鎖脂肪酸事業の取り組みのひとつとして、鈴鹿市、鈴鹿医療科学大学、当社の三者で健康寿命延伸に向けた産学官連携協定を締結し

ました。この産学官の連携により得られた成果を事業に活用することで、鈴鹿市のみならず、日本国民全体の福祉と健康の向上につなげていくことを目指します。

また、アジアを中心にさまざまな国で事業を展開する企業として、2011年から国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加をしており、引き続き地球規模の社会課題の解決や、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

近年、アマニ油に含まれるオメガ3やオリーブオイルに含まれるオレイン酸、そして中鎖脂肪酸など、植物油の持つ健康成分や機能に注目が集まっています。植物油は人々の成長・健康維持に不可欠な存在であるだけでなく、さまざまな料理のおいさを支える存在でもあります。当社はこれからも、日本の、そして世界の食卓を彩り、豊かにしていくことを目指してまいります。消費者の皆様の声に対して真摯に耳を傾け、「おいしさ・健康・美」で食生活のみならず、幅広く生活全般を支えることで、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えし、社会に貢献してまいります。

日清オイリオグループ株式会社  
代表取締役社長

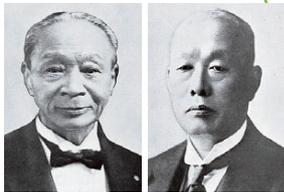
今村隆郎

# 日清オイリオグループのあゆみ

皆様のご家庭でおなじみのサラダ油もキャノーラ油も、始まりは日清オイリオグループから。  
100年以上の長い歴史の中で培ってきた技術や知識、経験を活かし、  
“植物のチカラ。”を最大限に引き出し、これからも世の中に新しい価値をお届けしていきます。

## 1907

大倉喜八郎、  
松下久治郎により  
「日清豆粕製造株式会社」  
の名称で創立



大倉喜八郎 松下久治郎

### 「日清」の由来

日本の「日」と清国（現在の中国）の「清」からとったもの。創業期は東京に本社、大連に支店・工場を設け、大豆を原料とする大豆油、大豆粕の製造加工、貿易を業務としました。

### 「Oillio」に込めた意志

「Oil」にOilを反転した「lio」を組み合わせた「Oillio」には、製油業の原点を大切にしながら、食用油の領域を超え、ヘルシーフード事業やファインケミカル事業などの新しい分野へ、次々とチャレンジしていくという意志を込めています。



## 1918

社名を「日清製油株式会社」に改め、  
横浜市にあった松下商店および  
松下豆粕製造所（旧・横浜神奈川工場）を吸収合併

## 1924

日本ではじめてのサラダ油、  
「日清サラダ油」を発売



1927年頃の「日清サラダ油」と雑誌広告

## 1951

業界ではじめての  
食用油のギフトセットを発売



1959年の新聞広告

## 1963

「横浜磯子工場  
（現・横浜磯子事業場）」の  
第一期工事を完了し、  
操業を開始

## 1980

純植物性マヨネーズタイプ調味料  
「日清マヨドレ」を発売



## 1992

「日清キャノーラ油」を発売

## 1996

「BOSCO オリーブオイル」を発売



## 2002

日清製油株式会社、リノール油脂株式会社、  
ニッコー製油株式会社の3社が経営統合し、  
**日清オイリオグループ誕生**



## 2003

特定保健用食品「ヘルシーリセット」を発売

## 2004

日清オイリオグループ株式会社、日清オイリオ株式会社、  
リノール油脂株式会社、ニッコー製油株式会社の4社合併  
により、「**日清オイリオグループ株式会社**」誕生

## 2007

創立100周年を迎える

## 2011

国連グローバル・コンパクトに参加

## 2015

「日清ヘルシーオフ」を発売



# 日清オイリオグループの事業

植物資源の可能性を最大限に引き出し、さまざまな事業を展開しています。

売上高  
構成比  
66.5%

## 油脂・油糧事業

キッチンや食卓で使用する家庭用食用油、外食店や給食施設で使用する業務用食用油、マヨネーズやスナック菓子などに使用する加工用食用油などを販売しています。油粕（ミール）は飼料や肥料用、加工食品用途として販売しています。そのほか大豆たん白や大豆粉末、食品大豆を販売し、さまざまな食品に使われています。



売上高  
構成比  
25.4%

## 加工油脂事業

豊富な種類の食用油を活用し、マーガリン、ショートニング、チョコレート用油脂などを国内外の生産拠点で製造、日本やマレーシア、欧州をはじめとし、グローバルに販売しています。当社グループの技術を用いて、高付加価値の油脂を作り出しています。



売上高  
構成比  
4.7%

## ファインケミカル事業

植物資源をベースに独自の技術を活用し、化粧品原料や潤滑油、中鎖脂肪酸油など、付加価値の高い機能性素材をさまざまな産業分野へ提供しています。



売上高  
構成比  
2.2%

## ヘルシーフーズ事業

より多くの皆様に役立つ食品の提供を通じて、健康的で美しい生活を提案しています。健康をコンセプトにしたドレッシング類やマヨネーズタイプの調味料、生活習慣対応食品、高齢者・介護食品、治療関連食品などを販売しています。



※ 売上高構成比は2015年度、これらのほかにその他事業の売上高構成比が1.2%あります。

# 発見! 日清オイリオグループ

街角のコンビニで、おなじみのレストランで。

世の中のいろんなところで、日清オイリオグループを発見!

油粕(ミール)

家畜のえさとして使用

油粕(ミール)

肥料として使用

高齢者・介護食品

食べ物や飲み物のトロミを調整する食品や、エネルギー補給を目的としたプリンや飲料など

治療関連食品

低たんぱくごはんなどのたんぱく調整食品

家庭用食用油

ドレッシング類

中鎖脂肪酸油

グミ・キャンディーなどの離形、硬度調整に使用

家庭用食用油

キャノーラ油やオリーブオイルなど

業務用食用油

天ぷら・コロッケなどの総菜調理に使用

加工用食用油

マヨネーズや即席めんなど加工食品に使用

チョコレート用油脂

マーガリン・ショートニング

チョコレートやアイスクリームなどのお菓子に使用

ドレッシング類

ドレッシングやマヨネーズタイプ調味料など

マーガリン・ショートニング

食パンやデニッシュなどに使用

○… 油脂・油糧事業 ○… 加工油脂事業  
 ●… ファインケミカル事業 ●… ヘルシーフーズ事業

植物由来潤滑油  
 アルコール  
 除菌剤  
 食品工場などで使用

化粧品原料  
 口紅、ファンデーション、  
 クレンジングオイル  
 などに使用

化学品  
 マーカーインクや  
 シャープペンシルの  
 芯などに使用

アルコール  
 除菌剤

業務用食用油  
 調理に使用

マーガリン・  
 ショートニング  
 ケーキなど  
 コンビニスイーツに  
 使用

業務用食用油  
 弁当、からあげなどの  
 調理に使用  
 大豆粉末  
 ドーナツなどに使用

ギフト

お中元やお歳暮向け  
 ギフトセット



※ イラストのシーンは一例です。

# 日清オイリオグループのバリューチェーン

## 研究開発



### 独創的で高い技術力により 商品を生み出しています。

当社グループでは中央研究所を中心に、油脂の基礎研究から新商品の開発まで幅広いテーマについて、研究員一人ひとりが新しい発想と探究心を持って取り組んでいます。

基礎研究では、油脂のおいしさや健康性、物性など、新たな可能性を求めて研究に取り組んでいます。新商品の開発では、事業部門や生産部門と協働し、機能性油脂のほか、天然の成分や風味を活かした商品の開発を行っています。

海外においてはマレーシアの拠点を中心に、グローバルな展開を見据えた研究開発に取り組んでいます。

2016年度中に、横浜磯子事業場内に技術開発センターを新設し、生産技術と研究開発の融合、本社機能との連携を一層強化することで、研究開発のスピードアップを図り、お客様の求める商品・価値を提供していきます。

## 調達

世界各国の品種や産地を  
的確に選択し、原料の  
安定調達に努めています。



大豆



キャノーラ  
(菜種)



パーム



オリーブ



亜麻仁(フラックス)

日本の製油産業は、油脂原料のほとんどを海外に依存しています。たとえば、大豆はアメリカやブラジルから、菜種はカナダやオーストラリアから。

近年、世界的な人口増加やバイオ燃料の需要増加により、穀物の需要構造が大きく変化しています。当社グループでは、天候や収穫量の増減、世界の需給バランス、穀物の国際相場などを素早く的確に把握、最適な産地から良質な油脂原料を調達し、安全で安心できる商品を安定供給できるように努めています。



研究開発から調達、製造、販売まで。

商品を安全・安心に、そして安定的にお届けするために、グループ一丸となって日々の活動に取り組んでいます。

## 製造



### 国内外の各拠点で、 フレキシブルで競争力のある 生産体制を構築しています。

当社グループは、国内外に生産拠点をもち、お客様のニーズに対応した高品質な商品を提供し続けています。

国内に4カ所ある生産拠点のうち、「横浜磯子事業場」「名古屋工場」「水島工場」の3拠点は、搾油から精製、充填までを一貫して行っています。「堺事業場」は精製と充填に特化した生産拠点です。海外においては、マレーシアの Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd. (ISF) でパーム油脂やチョコレート用油脂を製造、またスペインの Industrial Química Lasem, S.A.U. (IQL) では化粧品原料や中鎖脂肪酸油の製造を行うなど、グローバルに生産基盤を構築しています。原料事情や社会・経済環境を見据えながら、各拠点それぞれが機能や設備、立地を活かし、フレキシブルで競争力のある生産を行っています。

## 販売

### 安全・安心な商品をお届けするのが私たちの仕事です。

家庭用食品の営業では、主に量販店に対して、棚割提案や旬の食材を使ったメニュー提案などを通じ、売り場の活性化に貢献しています。業務用食品の営業は、レストランなどの外食店や量販店の総菜売り場等に対し、世の中の生活トレンドをふまえたメニューや食シーンを提案するとともに、揚げ物の品質向上などのサポートも行っています。加工油脂の営業は、マーガリンやショートニング、チョコレート用油脂などを製菓・製パン等の加工食品メーカーに対し販売。当社グループの油脂加工技術を駆使し、取引先の商品開発をサポートしています。

提案型営業を支えるのが技術サポート。当社では、グループの持つ技術・情報を総合的に活用し、さまざまな課題解決に取り組むユーザーサポートセンターを設置、さらなる「顧客満足」を目指して提案活動を展開しています。

また、消費者の潜在ニーズを取引先とともに考え、それに合わせた商品を開発・提供する「ニーズ協働発掘型営業」にも注力しています。



# 毎日の食生活をさらに豊かに スーパーエナジー 中鎖脂肪酸



## 日清オイリオグループと中鎖脂肪酸

当社グループは、植物資源の可能性を最大限に引き出し、毎日の食生活をさらに豊かにするために、さまざまな事業に取り組んでいます。その中でも、中鎖脂肪酸については40年以上にわたって研究を続け、これまでさまざまな

商品開発を行ってきました。中鎖脂肪酸は、ココナッツやパームフルーツに含まれる天然成分で、母乳や牛乳にも含まれているので、安全にお召し上がりいただける成分です。

## 中鎖脂肪酸とは？

### 中鎖脂肪酸の「中鎖」って？

脂肪酸は分子がくさり状につながっていて、その長さによって分類されています。一般的な植物油は長鎖脂肪酸から成り立っていますが、中鎖脂肪酸はくさりの長さが約半分になります。

くさりの長さが違うから「中鎖」なんだね！

○:炭素 OH:水酸基 ○:酸素

中鎖脂肪酸のイメージ図(炭素8個カプリル酸の例)



長鎖脂肪酸のイメージ図(炭素16個パルミチン酸の例)



### 中鎖脂肪酸の特長は？

長鎖脂肪酸はカラダに吸収された後、体内に貯蔵され必要に応じてエネルギーとなります。それに比べ、中鎖脂肪酸は直接肝臓に運ばれ効率よく分解されてエネルギーとなります。

エネルギーになりやすいんだ！



摂取する

吸収



すぐにエネルギーとして分解

### さまざまな年代の健康に！

中鎖脂肪酸は、エネルギーになりやすいという特長から、乳幼児のエネルギー補給や、育ち盛りの子どもの成長をサポートする成分です。そして生活習慣病が気になる中高年の方にとっては、健康な毎日過ごすための強い味方です。さらに、高齢者の低栄養状態の改善のため、

医療や介護の現場で広く利用されています。

最近では新しい可能性として、脳のエネルギー不足を補うといった新たな機能が明らかになってきました。当社は中鎖脂肪酸と脳機能の関係についての研究を進めており、その成果を学会でも発表しています。

詳しくは、こちらのホームページもご覧ください ▶「中鎖脂肪酸サロン」<http://www.nisshin-mct.com>

# 日清オイリオグループの取り組み

## 中鎖脂肪酸の持つ力を多くの方々に！ 健康寿命延伸に向けた産学官連携

当社グループはこれまで高齢者向けの食品の開発・販売などを通じ、人々が長い人生をいきいきと過ごしていけるように、食の分野からさまざまなアプローチを行ってきました。

最近の新たな取り組みとして、中鎖脂肪酸の持つ力をより多くの方々の健康に役立てていただくため、2016年2月に三重県鈴鹿市、鈴鹿医療科学大学と、「健康寿命延伸に向けた産学官連携協力に関する協定」を結びました。

これから、鈴鹿市の地場食材と中鎖脂肪酸を含んだ食用油を使ったレシピコンテストや、鈴鹿市民500名を対象に、中鎖脂肪酸を取り入れた食生活と栄養状態に関する研究を進めていきます。この産学官の連携により、鈴鹿市民、さらには国民全体の健康とQOL\*の向上につなげていくことを目指します。\*QOL:Quality of Life (生活の質)の略



協定締結の様子  
(左から、当社 今村社長、鈴鹿市 末松則子市長、  
鈴鹿医療科学大学 高木純一理事長)

## 中鎖脂肪酸の研究を進める中で 認知症患者の笑顔に注目:測ってQOLの向上を実感

当社では、認知症の方の「笑顔」や「悲しみ」といった表情の変化を数値化し、客観的に評価するための技術「表情解析技術」の確立を進めています。取り組みのきっかけは、中鎖脂肪酸と認知症患者の関係について研究を進める中で、毎日の食事で中鎖脂肪酸を摂取されている認知症の方のご家族から、「笑顔が増えた」、「表情が豊かになった」という声をいただいたことでした。日常生活の中で、認知症の方の笑顔が増えるといった変化は、介護するご家族にとってうれしいものです。当社は笑顔の増加率などを数値として表せるように評価方法の確立を進め、認知症患者とご家族のQOLの向上に貢献したいと考えています。



パソコンを駆使して表情を解析

### VOICE

### 最初から最後まで、 「おいしさ」にこだわりぬいたものづくりをしています

中鎖脂肪酸を毎日、誰にでも食べていただけるよう、当社は徹底的に「おいしさ」にこだわったものづくりをしています。当社が追求している「おいしさ」は、甘い、辛いといった味だけではありません。たとえば、病気を持つ子どものおやつ用のクッキーを試作する場合は、油分が多くてもサクサクとした食感が出せるように研究を重ね、高齢者向けの介護食なら、その飲み込みやすさや、胃への負担が少なくなるように気を配ります。このように味や食感、食べやすさなど、さまざまな要素が組み合わさって、はじめて当社の考える「おいしさ」が実現できるのです。そして、当社が長年培ってきた技術力で、「おいしさ」を日本へ、世界へ、中鎖脂肪酸の魅力として広げていきます。

中鎖脂肪酸事業化推進室 室長 土屋 欣也



# 日清オイリオグループの グローバルネットワーク

日清オイリオグループは、アジアを中心にさまざまな国で事業を展開しています。  
グローバル展開を加速することで成長し続け、持続可能な社会づくりに貢献します。



## Spain ス페인

Industrial Química  
Lasem, S.A.U.



### 多様なニーズに応えるきめ細やかな対応力

化粧品原料や化学品を製造し、欧州や北中南米、日本を含めたアジアなどに向けて販売しています。幅広いニーズに対応するため、汎用品から高付加価値製品まで取り扱っています。また、現在当社グループが注力している中鎖脂肪酸油の原料供給の一翼を担っています。

## Malaysia

マレーシア

Intercontinental  
Specialty Fats Sdn. Bhd.

### 高い品質要求を支える研究開発力

機能性油脂およびパーム油脂を製造し、マレーシアや日本、欧州向けに販売しています。特に欧州でニーズが高まっている高付加価値のパーム油やチョコレート用油脂などの研究開発に力を入れているほか、日々の製造管理を徹底しています。

### VOICE

Manager 赤羽 明



自分が今まで日本で培ってきた技術や知識を大いに活用し、当社グループ全体の加工油脂の技術力向上に貢献できることにやりがいを感じています。言葉や習慣で苦労することもあります。自分自身の成長のための良い機会と捉え、より円滑にコミュニケーションがとれるよう、日々工夫を重ねています。



### Column

#### 各国の事情にあわせた工夫

人口の約6割がイスラム教徒のマレーシアでは、日の出から日没まで一切の飲食をしない「ラマダン」の期間中、日没後に試作品や油脂の風味評価を行っています。日本とは文化が異なる海外で事業を展開していく中で、各国の事情にあわせた工夫をしています。





# China

中国

## 日清奥利友(中国)投资有限公司

### 中国での日清ブランド拡大を推進

中国国内の食用油、加工油脂に関わるグループ会社への投資、経営支援、また商品開発、販売促進に関する技術サポートを行っています。中国市場の変化に対応し、インターネットを活用した「日清ブランドの拡大」を推進しています。



## 上海日清油脂有限公司

### 日本基準のサービスで高い信頼を獲得

中国市場向けに、高品質の食用油とサービスを提供しています。購買、委託生産、販売、配送、アフターサービスなど日本水準の品質をお届けしています。



### ファインケミカル製品の市場拡大に注力

化粧品原料や化学品、中鎖脂肪酸油などを中国市場に向けて販売しています。お客様に専門性の高い商品特性をご理解いただくため、商社と共同でセミナーを開催しています。中国でニーズが高まるファインケミカル製品の販売拠点として、市場拡大を図っています。

## Japan

日本

日清オイリオグループ株式会社

## 日清奥利友(上海)国際貿易有限公司



# Singapore

シンガポール

T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd.

### 販売量増加を目指し、新規顧客を開拓

乳、砂糖、油脂、カカオパウダーなどを使用した調製品を製造しています。複数の原料を均一に混合する技術と高い品質管理力が強みです。2012年、新工場に移転し、生産能力を増強するとともに、新規の顧客開拓に注力し、着実に販売量を伸ばしています。



# 日清オイリオグループのCSR

経営理念の実現を通じてステークホルダーの皆様の期待と信頼にお応えすることが、私たちにとってのCSRです。

## 経営理念

1. 企業価値の追求と、その最大化を通じた人々・社会・経済の発展への貢献
2. 「おいしさ・健康・美」の追求をコアコンセプトとする  
創造性、発展性ある事業への飽くなき探求
3. 社会の一員としての責任ある行動の徹底

## コアプロミス

日清オイリオグループは、  
健康的で幸福な「美しい生活」(Well-being)を提案・創造いたします。  
そのために私たちは、無限の可能性をもつ植物資源と、最高の技術によって、  
あなたにとって、あったらいいなと思う商品・サービスを  
市場に先駆けて創り続け、社会に貢献することを約束いたします。

## ○ CSRの取り組みの基本方針

### 意義・目的

- 日清オイリオグループにとってCSRとは、あらゆるステークホルダーとの関わりを重視し、「法的な責任を果たすこと」はもちろん、安全で安心できる商品・サービスの安定的な提供、環境問題への取り組み、社会貢献、情報開示など、「あらゆるステークホルダーからの期待に応えること」です。
- 日清オイリオグループにとって、経営理念の実現そのものが、CSRに対する取り組みに直結するものです。
- 日清オイリオグループは、CSRに対する主体的な取り組みによって、あらゆるステークホルダーからの信頼・共感の維持・向上を図り、企業の持続的発展、企業価値の向上を目指します。

## 日清オイリオグループのCSRイメージ

当社グループは、1907年の創立以来、植物がもつ3つのチカラ、「おいしくするチカラ」「健康にするチカラ」「美しくするチカラ」を最高の技術によって引き出し、世の中にお届けしてきました。

「おいしさ」「健康」「美」。これらの喜びを、健康的で幸福な「美しい生活」(Well-being)として、提案・創造していきます。そして、社会や環境の分野においても、“植物のチカラ®”を活用し、世の中に貢献します。



## 中期経営計画

2014年度から2016年度の中期経営計画の目標達成に向けて、全社一丸となって事業に取り組んでいます。

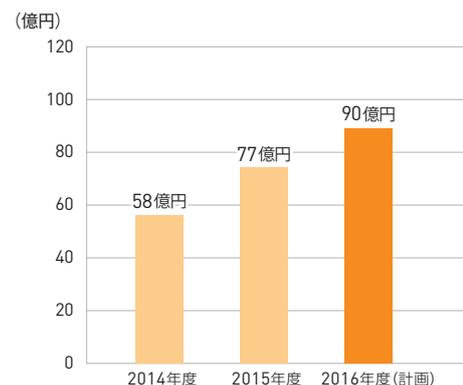
### 当社グループのあるべき姿、目指すべき方向

強力なブランド力と独創的かつ優位性のある技術を武器に、油脂と油脂から派生する事業をグローバルに展開する企業グループ

### 基本方針

グループの基幹事業である油脂事業の収益改善を中心とする将来のゆるぎない収益基盤の構築

### 経常利益の推移



## ○ ステークホルダーに対する取り組み

当社グループは、2005年にCSRに対する取り組みの基本方針を定めた際に、主たるステークホルダーをお客様、取引先、株主・投資家、従業員、社会、環境とし、ステークホルダーごとにCSRの方針を策定し、取り組んでいます。

### CSRの方針



#### お客様

「おいしさ・健康・美」を追求した、安全・安心でお客様にとって価値ある商品・サービスを安定的にご提供し続けます。お客様の声を絶えずお聞きして、「植物のチカラ®」を、独創的な技術で商品・サービスに活かしていくとともに、お役に立つさまざまな関連情報を常に発信していきます。



#### 取引先（販売先・調達先）

フェアネス（公平・公正）に基づいた相互信頼のパートナーとしての関係を築き、共同で商品や市場を開発し、ともに成長していきます。



#### 株主・投資家

健全な成長と安定した企業業績のもとで、株主様との双方向コミュニケーションの推進による良好な関係を築きながら、株主価値の向上、適切な利益還元に努めます。また、広く投資家の皆様に向けて、適切な情報開示を行います。



#### 従業員

時代に合った働きやすい環境を整え、持続的に従業員が自己の成長を感じられる働きがいのある、いきいきとした安全で衛生的な職場を実現します。



#### 社会

良き企業市民として地域社会に貢献するとともに、国際社会の一員としても良好な企業活動や積極的なコミュニケーションを図り、社会とともに発展していくよう努めます。



#### 環境

常に未来に向けた技術で、「植物のチカラ®」を引き出し、原料・資材の調達から、生産、納品、ご使用、廃棄にいたるまで、地球環境に配慮した商品・サービスの開発・ご提供を目指します。またこれらを通じて、低炭素社会、資源循環型社会、自然共生社会の構築を目指した取り組みの推進に努めます。

## ○ 国連グローバル・コンパクトの社内浸透

当社は、2011年7月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加しました。国連グローバル・コンパクトは、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野について組織が遵守すべき普遍的原則を示したものです。

2015年度はガイドブックの配布や、新入社員研修等を通じて従業員に対して国連グローバル・コンパクトの

理念の浸透を図りました。

国際的な企業グループとして、国連グローバル・コンパクトの理念を取り入れCSRの取り組みをさらに推進し、ステークホルダーからの信頼に応えていきます。

### 国連グローバル・コンパクトの10原則

#### ● 人権

- 原則1 人権擁護の支持と尊重
- 原則2 人権侵害への非加担

#### ● 労働

- 原則3 結社の自由と団体交渉権の承認
- 原則4 強制労働の排除
- 原則5 児童労働の実効的な廃止
- 原則6 雇用と職業の差別撤廃

#### ● 環境

- 原則7 環境問題の予防的アプローチ
- 原則8 環境に対する責任のイニシアティブ
- 原則9 環境にやさしい技術の開発と普及

#### ● 腐敗防止

- 原則10 強要や賄賂を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み



Network Japan  
WE SUPPORT



前列左から、古谷由紀子氏、蒲生恵美氏 後列左から、日清オイリオグループ 福島、藤井、今村、石神、岡

## ステークホルダーダイアログの開催

# 商品価値・企業価値の向上につなげる 消費者とのコミュニケーション

2016年5月20日、経営倫理実践研究センター フェローの古谷由紀子氏と公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会の蒲生恵美氏をお招きし、消費者とのコミュニケーションをテーマにしたステークホルダーダイアログ\*を実施しました。

※ ステークホルダーダイアログ：事業やCSR活動について、さまざまなステークホルダー（利害関係者）の方と直接対話すること

### 消費者基点のコミュニケーション

まず、消費者とのコミュニケーションの現状について、「多くの企業が、消費者が生活している中で抱えている課題を捉えたコミュニケーションができていない。消費者基点の発想が重要ではないか」という有識者からの意見があり、当社の参加者からは、「より良い商品と一緒に

安全・安心をお届けすることが第一だと考えている。それに加え、現在設置しているお客様相談窓口のほかにも、消費者や消費者と直接接点のある方などからご意見を聞く仕組みづくりに積極的に取り組んでいきたい」といった意見がありました。

### 消費者の暮らし全体を考えた提案を

食用油の特徴や、商品の機能性に関する情報発信について、有識者から「消費者から“機能性をもっと知りたい」という声があるのは確かだろうが、食品として誤解のない表現が大切。企業として信頼を失うリスクもあるのでその点は配慮すべき」という意見をいただいたほか、多様な情報手段が発達している現状において、いかに企業が適切に消費者に情報を伝えてコミュニケーションを行っていくべきかなどの意見交換を行いました。

そのほか、機能性を持つ食品や中鎖脂肪酸に関連して、有識者から「食品には薬ではないからこそできる提案が

ある。おいしさや、食卓を囲む楽しさ、健康的な食生活など、商品を基軸にしつつ、消費者の暮らしをトータルで考えたうえでの提案やコミュニケーションを行ってほしい」といったご意見に対し、当社側から、「消費者の油に対する価値観の変化を捉え、新しい市場をつくっていくためにも、積極的な情報発信に努めたい」との発言がありました。

今回いただいたご意見を事業活動に活かすとともに、今後もステークホルダーの皆様との対話の機会を設けていきます。

### 有識者の方々



古谷 由紀子氏  
博士（総合政策）、経営  
倫理実践研究センター  
（BERC）フェロー



蒲生 恵美氏  
公益社団法人 日本消費  
生活アドバイザー・コン  
サルタント・相談員協会

### 日清オイリオグループ参加者

今村 隆郎（代表取締役社長）  
石神 高（代表取締役専務執行役員）  
藤井 隆（取締役専務執行役員）  
岡 雅彦（執行役員）  
福島 朱美（理事 中央研究所 副所長）

# マネジメント

社会との信頼関係および企業価値を維持・向上させるため、コーポレート・ガバナンスの充実、コンプライアンス、リスクマネジメントに積極的に取り組んでいます。



法務セミナー

## コーポレート・ガバナンス

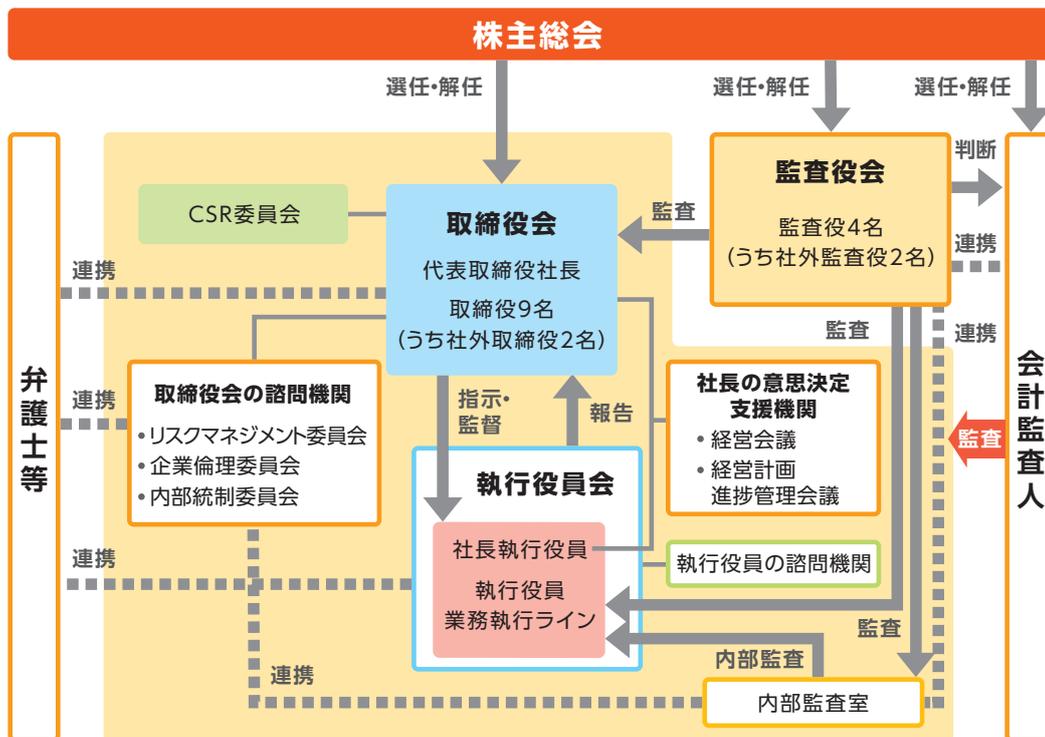
企業が社会との信頼関係を維持・向上させるために、コーポレート・ガバナンスはますます重要なものになっています。当社グループは、コーポレート・ガバナンスの充実を経営の重要事項と考えています。

当社は、取締役会、監査役会、内部監査室の機能を充実することにより、経営および業務執行の健全性、アカウントビリティは確保できると判断しています。取締役会は、社外取締役2名を含む9名、監査役会は、監査役4名（うち社外監査役2名）で構成されています。当社は、環境変化に即応した迅速な意思決定を実践するため、執行役員制度を導入しており、執行役員は取締役会から業

務執行権限を委譲され、経営計画や取締役会の方針に則り、職務領域を担当する取締役の監督のもとで業務執行に携わっています。

また、経営理念の実現を通じてステークホルダーから信頼を得ることを企業の社会的責任（CSR）と捉え、当社グループ全体におけるCSR推進のために、CSR委員会を設置しています。当社グループ全体のコンプライアンス、リスクマネジメント体制については、取締役会の諮問機関としてリスクマネジメント委員会、企業倫理委員会などの委員会を設置し、必要に応じて顧問弁護士などの連携を図り、専門的な見地から意見を答申しています。

## コーポレート・ガバナンス体制



※ 上記以外に常勤監査役とコーポレートスタッフ部門との定期的な情報交換を目的とした「コーポレート・ガバナンス協議会」を設置しています。  
 ※ 常勤監査役は、経営会議にオブザーバーとして出席しています。

## 〇 コンプライアンス

当社グループは、コンプライアンスを単なる法令遵守とは考えず、ビジネス上の倫理、さらには社会倫理の遵守と捉えています。

コンプライアンスの浸透に向けた取り組みの拠り所となる「日清オイリオグループ行動規範」は、企業倫理綱領のみならず経営理念実現のための行動指針であり、

CSR活動の行動指針とも位置づけています。

企業倫理、法令遵守に関する内部不正情報等を、社外にも窓口を設けた企業倫理ホットラインで受け付け、提供された情報については企業倫理委員会で審議し、再発防止を図っています。

### コンプライアンス教育

当社グループでは、コンプライアンス・プログラムを策定し、コンプライアンスの浸透・実践に向けた取り組みを継続的に行っています。毎年10月を企業倫理月間と定め、企業倫理講演会を開催しています。2015年度は、麗澤大学大学院教授の高巖氏をお招きし、「グループの誠実さを競争力に」をテーマにご講演いただき、あらためて企業倫理について考える機会を持ちました。また全従業員を対象に、クイズ形式でコンプライアンスに関連した問題に回答する「コンプライアンス・チャレンジ」を実施しています。通常の取り組みとしては、話題のトピックスや社内のニーズを反映した法務セミナーを開催しています。



企業倫理講演会で講師を務めた高巖氏



従業員が講師を務める法務セミナー

## 〇 リスクマネジメント

当社グループのリスクマネジメントの目的は、主体的な取り組みにより企業として安定した収益をあげるだけでなく、企業の社会的責任を果たすとともに、さらなる企業価値の向上と持続的な発展を目指すことです。

あらゆるリスクに対して最適な対応策を講じるとともに、リスク発生時において被害を最小限にとどめるべく、迅速かつ最善の対応を図ることを基本方針としています。

### BCP発動を想定した訓練の実施

当社は2009年に大規模地震に対するBCP（事業継続計画）と新型インフルエンザに対するBCPを策定し、2012年には東日本大震災をふまえ、より現実的な大規模地震BCPを再構築しました。

大規模地震BCPについては、各生産拠点にてBCP発動を想定した訓練を実施しています。2015年度は名古屋工場、堺事業場、水島工場の3拠点にて訓練を行い、2016年度は横浜磯子事業場での実施を予定しています。緊急事態発生時にBCPが有効に活用できるよう、今後も定期的な訓練を続けていきます。



大規模地震の発生を想定した訓練の様子(名古屋工場)

# 安全・安心のために

食品メーカーとして、安全で安心な商品・サービスを安定的にお届けすることを使命と考え、これからも取り組みを強化していきます。



お客様相談窓口



お客様

## マヨドレ容器の改善～外袋を外しても一目でわかる工夫～

卵を使わないマヨネーズタイプの調味料「日清マヨドレ」は、卵の摂取を気にするお子様を持つご家族や保育施設等からもご支持いただいている商品です。お客様からの「マヨネーズと区別がつくようにしてほしい」というご要望を受け、キャップの色をオレンジ色から水色に変えたとともに、容器に商品名入りのシールを貼りました。



改善前

改善後のマヨドレ容器



お客様

## 開封後の酸化を防ぐボトルの採用

「日清アマニ油145g」(2015年2月発売)と「ボスコエキストラバージンオリーブオイル145g」(2016年2月発売)について、「フレッシュキープボトル」を採用した商品を発売しました。このボトルは注いだ分だけ内袋が小さくなる二重構造で、逆止弁キャップで油が空気に触れにくく、最後までフレッシュな状態でおいしくお召上がりいただけます。容量は145gとフレッシュなうちに使い切りやすく、食卓でもお使いいただきやすいサイズです。



フレッシュキープボトル





## フードディフェンスの 取り組み

商品の安全・安心を守るため、フードディフェンスの取り組みを継続して行っています。2015年度に新設した食用油の充填工場においても、既存の施設と同水準にて記録カメラや指紋認証などの入室管理システムを設置し、一般的な異物混入、また意図的な異物混入への対策を行っています。

また、充填エリアへの異物混入防止を徹底するため、新型の作業着を導入しました。製品の充填エリアで働く従業員を対象に、ホコリなどが付着しないように静電気が起きにくい素材を使用したほか、袖のリブを長くするなどの工夫をしました。



指紋認証入室管理システム



## お客様相談窓口

消費者の皆様からの商品やサービスに関するご質問・ご意見などは、社内の「お客様相談窓口」にて受け付けています。専任の当社従業員が、電話やメール、手紙などで寄せられたご質問やご意見に対し、迅速・ていねいに回答することを心掛け、いただいたお客様の声を商品開発に活かしています。また、ホームページではお客様からのよくあるご質問を掲載し、商品を安心して使っていただけるサポート体制を整えています。



「お客様相談窓口」

<http://sodan.nisshin-oillio.com>



## 家畜用の飼料・飼料原料製造工場として FSSC22000相当※の認証を取得

当社では、これまでも、飼料用油粕(ミール)も食品と同様と考え、安全・衛生の管理を行ってきました。この考えのもと、2015年9月、家畜用の飼料・飼料原料製造工場として、日本で初めてとなるFSSC22000相当の認証を横浜磯子工場

※ 飼料はFSSC22000の認証対象となっていないため、ISO22000とPAS222を同時取得したことにより、FSSC22000相当の認証を取得したこととなる。

で取得し、その後名古屋工場、水島工場でも同様の認証を取得しました。



## 食品衛生優良施設として厚生労働大臣から表彰

2015年10月、名古屋工場と水島工場が「食品衛生優良施設」として、厚生労働大臣から表彰を受けました。この賞は食品衛生の推進・向上に多大なる

功績を収めた施設に対して贈られるもので、日頃の施設改善や食品衛生に関しての取り組みが他の模範になると評価されました。

# 原料調達における取り組み

「日清オイリオグループ行動規範」にて、原料・資材の購入先に対し常に公平かつ対等な立場で接すること、またあらゆる形態の強制労働・児童労働の排除を定めています。安定的かつ持続可能な調達を目指し、各種団体との取り組みを進めています。



大豆畑



取引先

## 商品の安定供給のために

当社では、干ばつなど天候の影響による原料の収穫量の変化にも対応できるよう、複数の国からの調達を行っています。すべての原料に対して、品質と安全性の確保のため食品衛生法に基づいた定期的な安全性評価を行っており、また当社基準に照らしあわせ、原料生産国における農薬の使用および管理状況の把握や、油脂調達先に対する異物混入対策などさまざまな調査を実施しています。あわせて、産地訪問も継続的に行うとともに、新たな調達先についても検討し商品の安定供給に努めています。

また、大東カカオ株式会社では、さまざまなチョコレート原料を海外から調達しています。安定調達と原料品質の維持を目的に、定期的にかカオ豆の産地を視察するとともに、カカオバターなどの輸入カカオ製品についても、定期的に海外の調達先を訪問し、安全性などについて調査を行っています。



現地調査の様子 (大東カカオ株式会社)



取引先

## RSPOサプライチェーン 認証取得

当社はパーム油産業の健全な発展に貢献していくため、2012年からRSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しています。2014年3月には「RSPOサプライチェーン認証※1」を横浜磯子事業場・堺事業場において取得しました。子会社においては、マレーシアのISF、スペインのIQLが加盟、RSPOサプライチェーン認証を取得しています。今後もパーム油生産に関する環境・社会的課題を深く理解・認識し、RSPOの理念の普及に努めていきます。

※1 RSPOサプライチェーン認証：製造・加工・流通過程における認証制度。認証パーム油を使用して作られた製品を取り扱う各工程でサプライチェーン認証の要求事項を満たしているかを認証する制度です。



取引先

## 世界カカオ財団 への参画

大東カカオ株式会社は2013年から世界カカオ財団(WCF)※2に加入しています。世界のカカオ産業が抱える課題解決に向けたWCFの活動への支援を通じて、今後もグローバル市場における社会的責任を果たしていきます。



World Cocoa  
Foundation

※2 世界カカオ財団：持続可能なカカオ経済の促進に貢献する100社以上の会員企業で構成される世界的な財団で、カカオ主要産地にて農民への教育活動や品種改良支援等を行っています。

# 株主・投資家との対話

投資家の皆様に対して適切な情報開示を行うとともに、  
双方向のコミュニケーションの推進により、  
良好な関係を築いていきます。



株主様工場見学会 懇親会の様子



株主・投資家

## 株主様工場見学会



ミニプラントを使用した説明



充填ラインの見学

株主様との直接のコミュニケーションの機会として、  
毎秋、横浜磯子事業場にて株主様向けの工場見学会  
を開催しています。見学会では、商品の充填ラインな  
どの工場施設を見学していただいたり、ミニプラント  
を使用して原油の精製工程についてご説明していま  
す。見学後には、当社グループの商品を使った料理を  
試食していただきながら、今村社長をはじめとする  
当社役員と懇親していただく機会を設けています。



株主・投資家

## 投資家の皆様との コミュニケーション

個人投資家の皆様向けに、全国の証券会社支店にて  
会社説明会を開催しています。2015年度は全国12  
カ所、631名の個人投資家の皆様に、当社の事業内  
容や経営戦略についてご説明しました。

また、機関投資家・アナリストの皆様を対象に、年2回  
開催する決算説明会のほか、個別のIRミーティングを  
積極的に行っています。



会社説明会



株主・投資家

## 株主優待制度

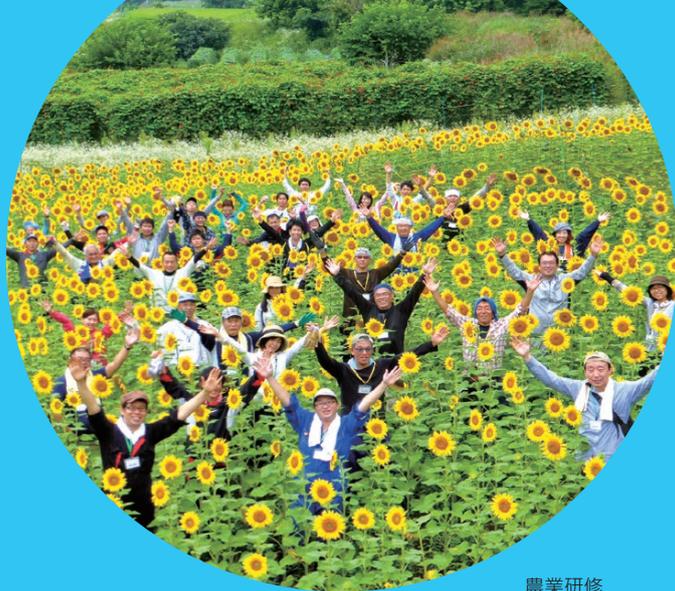
毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、1,000  
株以上を所有されている株主様に対して、年1回  
3,000円相当の当社製品をお贈りしています。



株主優待品の例

# 人材の育成と活用

体系的な教育制度を設け、従業員一人ひとりがプロフェッショナルとして活躍するための支援をするとともに、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。



農業研修



## 教育優先の企業風土

「教育はすべての業務に優先する」という教育方針のもと、階層別教育、部門別教育、自己開発教育など体系的な制度を整え、従業員一人ひとりが高度な専門性に裏づけられた強力な行動力を発揮し、成果につなげていくプロフェッショナルになることを支援しています。

グローバル人材の早期・継続的育成のための教育を推進しており、2016年からマレーシアにある子会社 Nisshin Global Research Center Sdn. Bhd. にて、1カ月の滞在型研修を実施しています。

### マレーシア滞在型研修 参加者の声

中央研究所  
阿部 功典



1カ月にわたる滞在では、パーム油や、日本では扱うことの少ないエキゾチックファットなどの南方系油脂の実験や分析に参加することで、マレーシアのパーム油産業についてより一層理解を深められました。

参加前は英語でのコミュニケーションが不安でしたが、現地のスタッフと実験結果について議論を交わす中で、徐々に慣れていくことができました。今後、グローバルな視点で油脂の価値を向上させるためには、パーム油の知識だけでなく、日本と異なる環境や文化を理解し、現地のスタッフと協同していくことが重要だと実感しました。



研修の様子



## 農業研修の実施

NPOの支援のもと、当社および株式会社マーケティングフォースジャパンは、共同で耕作放棄地を借り上げ、開墾から種まき、収穫などの一連の農作業を行う“農業経験研修”を実施しています。昼間の農作業で“植物のチカラ®”を体感し、夜にはワークショップを行う中で、日本の食や農業についての知見を深めるとともに、活力にあふれた組織風土づくりを行っています。



参加者全員で共同作業を体験



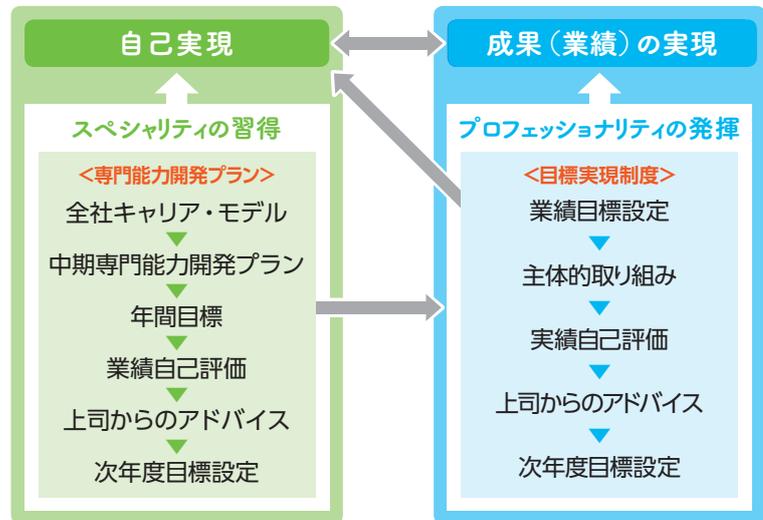
土をならし、畑を耕す



## 「能力開発・成果主義」を基本理念とした プロフェッショナル人事制度

当社の人事制度の基本理念は「能力開発・成果主義」であり、従業員一人ひとりが、高度な専門性に裏打ちされた行動力を持って成果を出すプロフェッショナルであってほしいと考えています。

制度の中核を成すシステムとして「目標実現制度」と「専門能力開発プラン」があり、この2つのシステムを密接にリンクさせ、個人の成長と企業の業績向上を同時に達成し、そして社会の発展に貢献することを目指しています。



## ワーク・ライフ・バランスの推進

少子化が進行する中で、当社は「次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、成長する環境づくり(次世代育成支援)」を重要なテーマと位置づけ、積極的な取り組みを進めています。2011年度から2014年度の4年間における次世代育成行動計画の実行によって、厚生労働省が子育てサポート企業として認定する「次世代認定マーク(通称:くるみん)」を取得しました。2016年度以降についても新たな次世代育成行動計画に則った活動を積極的に展開していきます。



### 育児休職 取得者の声

中央研究所  
櫻井 智香



長女が保育園に入所するまで育児休職を取得しました。休職中は生活が一変しましたが、子どもの成長はもちろん、自分自身も新たな経験をしたり友人の輪が広がったりと、貴重な時間となりました。

復帰の際は、休職前のように仕事ができるのか、生活との両立など、不安もありましたが、上司や職場の方々が変わらず温かく迎えてくれ、安心して復帰することができました。育児休職経験者が周りに多いことも励みになっています。



## 女性活躍推進への取り組み

「企業は人なり」の理念のもと、女性活躍推進を当社の重要な経営戦略のひとつと位置づけています。

女性従業員に対して、さまざまな実務経験や教育受講の機会を従来よりも比較的早い段階から提供することにより、女性活躍推進の土台を作りあげるとともに、ワーク・ライフ・バランスの支援や組織風土の改革も含めた環境・制度整備を同時に進めていきます。

# 環境のために

かけがえない地球を  
次の世代に引き継ぐために、  
“植物のチカラ<sup>®</sup>”を最大限に引き出し、  
地球にやさしい企業活動に取り組み続けます。



たかはしがわ  
高梁川クリーン活動(水島工場)



## 低炭素社会実現に向けた省エネ機器導入

当社グループでは、事業活動によるエネルギー消費量を考慮し、地球温暖化ガス排出削減による低炭素社会実現への取り組みを積極的に進めています。省エネや環境に配慮した設備の導入例として、2015年度、堺事業場にて植物油脂の製造時に使用する冷凍機を高効率型のターボ冷凍機(インバータ)へ更新しました。

これにより、エネルギーを効率よく使用できるようになり、結果として年間約10%の電力使用量の削減ができました。



導入した  
ターボ冷凍機

堺事業場  
攝津製油株式会社 油脂工場 精製グループ  
子安 恒昭

高効率型導入により、大きな効果が得られました。  
今後もさらなる省エネ推進を継続します。



## 配送における環境負荷低減に向けて

環境負荷の低減に向けた取り組みとして、モーダルシフトや他企業との物流共同化を推進しています。2015年度には、取り組みのひとつが次世代型モーダルシフト(複数の荷主企業による混載、空コンテナ輸送の削減、往復路の荷物の確保)として評価され、国土交通省より「モーダルシフト等推進事業」として認定されました。また、2016年4月から、北海道地区で当社を含む食品メーカー6社による共同配送を開始しました。輸送の効率化を進め、6社のCO<sub>2</sub>排出量の約15%削減を目指します。



## 地域の清掃活動に参加～水島工場～

岡山県倉敷市の高梁川で行われたクリーン活動に水島工場の有志17名が参加しました。この活動は、岡山県の三大河川のひとつであり、住民の生活用水や工業・農業用水を供給し、暮らしを支えている高梁川の美しい自然を守るための活動です。今後も地域の自然保護活動を通じ、環境保全に貢献していきます。



## 環境目標および評価

2020年度を目標年度とした中期環境目標の達成に向けた環境活動を推進しています。

2015年度の実績は以下の通りです。なお目標については情勢変化により、見直しを実施する場合があります。

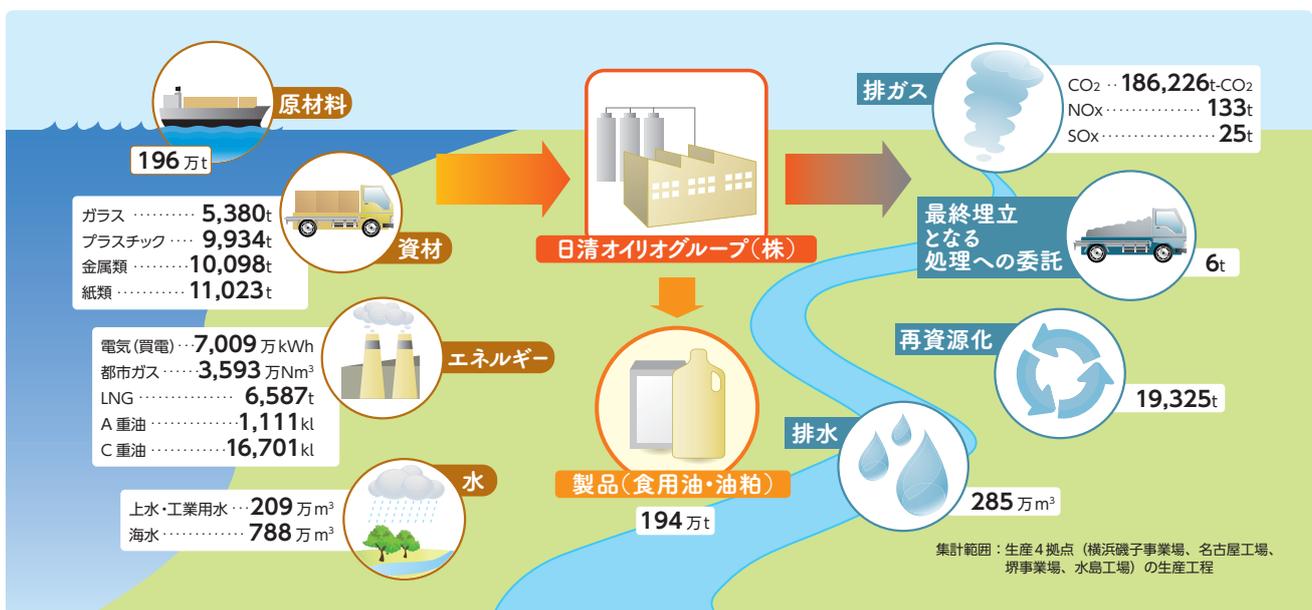
評価：○順調に進捗、△未達成・改善が必要

テーマ	中期環境目標	2015年度の実績	評価
低炭素社会	2020年度に以下の目標を達成する(基準年度:1990年) ・生産活動における使用エネルギー量を20%削減、使用エネルギー原単位を15%削減	・使用エネルギー量:3.6%削減 ・使用エネルギー原単位:5.7%削減	△
	2020年度に以下の目標を達成する(基準年度:1990年) ・生産活動におけるCO <sub>2</sub> 排出量を25%削減、CO <sub>2</sub> 排出量原単位を20%削減	・CO <sub>2</sub> 排出量:8.0%削減 ・CO <sub>2</sub> 排出量原単位:10.0%削減	△
	・油脂の輸配送に係るエネルギー使用の原単位を2020年度に、2010年度比10%削減 対象:パッケージ品+バルク油(油粕や生産のための拠点間輸送は除く)	・エネルギー使用原単位:1.7%削減	△
循環型社会	・生産工程でのゼロエミッションの継続	・生産工程での再資源化率:99.97%	○
	・生産活動における用水(上水・工業用水)使用量原単位を2020年度に、2012年度比8%削減	・用水使用量原単位:8.1%削減	○
オフィス関連	・電気使用量原単位を2020年度に、2012年度比8%削減 対象:事務ブロック(本社+8支店)	・電気使用量原単位:11.4%削減	○
	・紙/コピー用紙の使用量削減 対象:事務ブロック+研究ブロック	・コピー用紙使用量: 11.1%削減(前年度比)	○
	・紙ゴミの廃棄量削減 対象:事務ブロック(支店除く)+研究ブロック	・紙ゴミ廃棄量: 45.8%増(前年度比)*	△
開発関連	・環境負荷の少ない容器・包装の開発	・酸素の透過を抑えるボトルを採用し、賞味期限の長期化を実施	○
	・化石資源の利用低減、未利用資源の有効活用など	・生産プロセスの改善により環境負荷の低減に貢献	○

\* 中央研究所移転にともなう書類整理および、ワークスタイル変革(オフィスの効率化やペーパーレス化など)にともなう紙ゴミ廃棄量増加のため



## 資源・エネルギーの流れ(2015年度)



# 地域社会との共生

生産拠点を中心とした  
地域への社会貢献活動や、  
食にまつわるさまざまな活動を通じて、  
積極的なコミュニケーションを図っていきます。



神奈川マラソン



社会

## 親子向け食育活動



収穫した野菜を使って調理



保育園での豆腐作り教室

食品メーカーとして、親子を対象とした食育活動を通じて、食に興味を持っていただくきっかけづくりをしています。

毎年開催している食育イベントでは、旬野菜の目利きポイントを教わりながらの野菜収穫体験や、収穫した野菜を使って調理し、おいしくいただくという一連の体験を通じ、親子で食に親しむ機会を提供しています。また、もぎ豆腐店株式会社では、自社製品の豆腐を使用したレシピを紹介しながら、離乳食期の食事相談に応じる離乳食教室や、地域の保育園の年長児を対象とした豆腐作り教室を開催しました。



社会

## 世界の飢餓撲滅のためのチャリティウォークへの参加と協賛

当社グループは、世界の飢餓撲滅のために世界約70カ国で開催される「WFP ウォーク・ザ・ワールド」に2007年から参加・協賛を続けています。神奈川県横浜市で開催される公式イベントへの参加や、今年で4回目となる大阪府堺市での自主開催のほか、2015年は新たに名古屋工場が自主開催を企画し、愛知県瀬戸市の岩屋堂近辺でウォーキングをしました。イベントの参加費は国連WFP協会の「学校給食プログラム」に役立てられています。



自主開催したチャリティウォーク(名古屋工場)

### 大規模地震の被災地への支援

2016年4月に発生した「平成28年熊本地震」ならびに「エクアドル地震」により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。当社は熊本地震による被災地への支援として、日本赤十字社を通じ、1,000万円の義援金を寄付するとともに、当社主催の横浜磯子春まつりにご来場いただいた皆様からお預かりした義援金、また春まつりの売上の一部を寄付しました。

攝津製油株式会社では、日本赤十字社を通じて100万円の義援金を寄付するとともに、自社製品のアルコール除菌剤を従業員自ら被災地の各避難所に届けました。

また大東力カオ株式会社では、力カオ豆の産地であるエクアドルで起きたエクアドル地震への支援として、国連WFP協会を通じ、100万円の寄付を行いました。

# スポーツ振興を通じた健康への貢献

当社は、「おいしさ・健康・美」の提案・創造によって、人々の幸せの実現に貢献することを使命と考えています。その考えのもと、トップアスリートへの食事・栄養サポートや各種スポーツ大会への協賛・応援などを通じて、アスリートから子どもたちまで、あらゆる人々の健康的な生活を応援しています。

## 🏆 食事と運動の大切さを伝えるために ～トップアスリートへの食事・栄養サポートを通じた活動～

当社は長年にわたりトップアスリートへの食事・栄養サポート活動を行っており、この活動を通じて食事と運動の大切さを伝えていきます。卓球女子ワールドカップ仙台(東日本大震災復興支援)では、大会への協賛をするとともに、福原愛選手をはじめとした参加選手のサポートを行い、当社のブースではチャリティ活動も行いました。そのほか、上村愛子さんによる中学生を対象としたトークショーや、伊藤みき選手によるモーグル教室も開催しました。また、未来のトップアスリートを目指す子どもたちを食事・栄養の面からサポートするため、2006年から全日本少年サッカー大会(U12)への協賛も続けています。



卓球女子  
ワールドカップ仙台



上村愛子さんによる  
トークショー

## 🏆 横浜を中心としたスポーツイベントの応援・協賛

当社は主力工場のある横浜を中心にさまざまなスポーツイベントへの応援・協賛を続けています。2016年で第38回となった神奈川マラソンは、第4回大会から全面的にサポートしており、スタート・ゴール地点として工場の一部を開放しています。また、「横浜F・マリノス」の食事・栄養サポート活動や、横浜F・マリノスのコーチによる親子サッカー教室も開催しています。そのほか、横浜マラソンや世界トライアスロン横浜といったさまざまなスポーツ大会への協賛・ブース出展を通じ、食と運動の大切さを伝えていきます。



横浜マラソン



世界トライアスロン横浜

# CSRデータ

## お客様

		単位	2013年度	2014年度	2015年度	備考
お客様相談窓口へのお申し出件数	(合計)	件	18,932	18,804	47,283	
	お問い合わせ		17,785	17,786	45,938	
	ご指摘		638	552	695	
	ご意見・ご要望		509	466	650	
お問い合わせ内容内訳	(合計)	件	17,785	17,786	45,938	
	商品の特徴・使用方法など		8,421	8,347	13,282	2015年度は日清アマニ油など、サブリ的オイルに関する使用方法や保管方法といったお問い合わせが増えたため増加
	販売店や入手方法		3,088	3,288	4,192	
	賞味期限に関する質問		2,847	2,844	2,984	
	商品の品質に関する質問		1,282	1,334	1,806	
	資料やサンプルなどの依頼		794	677	765	
	ココナッツオイルの自主回収に関するお申し出		—	—	21,374	お客様相談窓口へのお申し出件数(3,787件)と回収専用ダイヤルへのお申し出件数(17,587件)の合計
	その他		1,353	1,296	1,535	

## 株主・投資家

		単位	2013年度	2014年度	2015年度	備考
株主数		名	32,689	31,617	31,423	
配当実績	(年間計)	円	10.0	10.0	10.0	
	中間配当		5.0	5.0	5.0	
	期末配当		5.0	5.0	5.0	
個人投資家向け会社説明会開催回数		回	10	12	12	
個人投資家向け会社説明会参加人数		名	681	508	631	

## 従業員

		単位	2013年度	2014年度	2015年度	備考
平均勤続年数	(合計)	年	17.2	17.9	18.8	対象：単体正社員 各年度3月31日時点
	男性		17.6	18.3	19.1	
	女性		15.5	16.4	17.3	
永年勤続表彰制度利用者数		名	98	86	63	
育児休職制度利用者数		名	22	22	24	
介護休職制度利用者数		名	1	1	2	
短時間勤務制度利用者数		名	26	26	35	
ボランティア休暇制度利用者数		名	1	0	0	
障がい者雇用率		%	2.28	2.60	2.72	
定年退職者再雇用制度利用者数		名	9	13	9	当該年度に定年を迎えた者のみをカウント

## 社会

		単位	2013年度	2014年度	2015年度	備考
横浜磯子事業場 工場見学者数	(合計)	名	12,659	9,923	11,306	2014年度は工場内の工事の影響で見学人数を制限したため減少
	一般消費者	名	6,950	5,299	5,865	
	学生	名	4,080	2,940	3,756	
	PTA	名	815	558	656	
	取引先	名	607	753	748	
	海外	名	207	373	281	
WFP ウォーク・ザ・ワールド※1 参加人数		名	121	123	132	
チャリティランチ ※2 喫食数		食	318	321	317	
地域での清掃活動参加人数 ※3		名	713	770	736	子会社含む
環境保護活動参加人数		名	85	99	80	

※1 国連WFP協会主催、子どもの飢餓撲滅のためのチャリティウォークイベント

※2 社員食堂でのチャリティ企画

※3 集計方法変更のため、コーポレートレポート2015で報告した数値を修正

## 環境

		単位	2013年度	2014年度	2015年度	備考
使用エネルギー量と 原単位の推移	使用エネルギー量 (原油換算値)	kl	78,827	82,782	87,684	2014、2015年度は生産量(搾油処理量)が増えたためそれぞれ増加
	使用エネルギー原単位	kl/t	0.128	0.133	0.137	エネルギー原単位= 使用エネルギー[原油換算](kl) / 油処理量(t)
CO <sub>2</sub> 排出量と 原単位の推移 ※4	CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	166,764	175,586	186,226	2014、2015年度は生産量(搾油処理量)が増えたためそれぞれ増加
	CO <sub>2</sub> 排出量原単位	t-CO <sub>2</sub> /t	0.271	0.281	0.291	CO <sub>2</sub> 排出量原単位= CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> ) / 油処理量(t)
油脂の輸配送に係るエネルギー使用削減率		%	▲ 0.2%	▲ 2.9%	▲ 1.7%	2010年度比、対象：パッケージ品+バルク油(油粕や生産のための拠点間輸送は除く)
廃棄物再資源化率		%	99.89	99.94	99.97	

※4 CO<sub>2</sub>換算係数変更のため、コーポレートレポート2015で報告した数値を修正

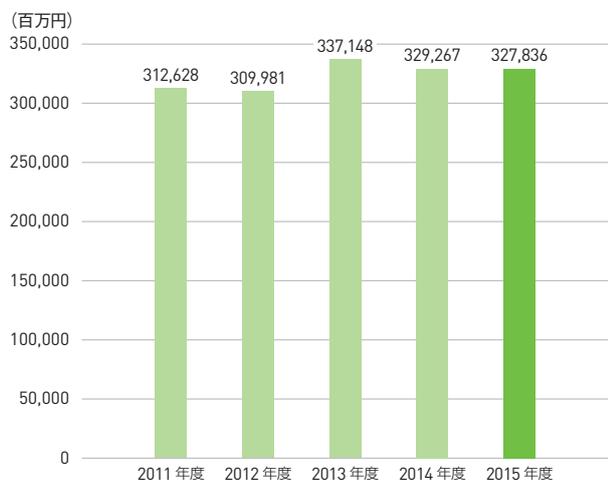
### WEB

本ページに記載しているのは実績の一部です。  
そのほかの実績はホームページの「CSRデータ集」をご覧ください。  
<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/report.html>



# 財務データ(連結)

## ● 売上高



## ● 営業利益



## ● 経常利益

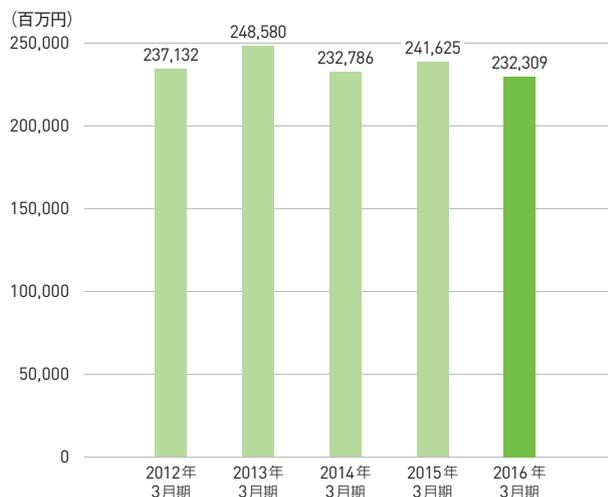


## ● 親会社株主に帰属する当期純利益※

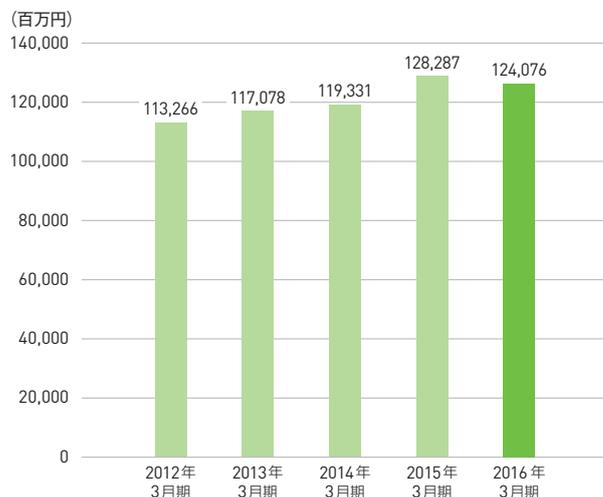


※「企業結合に関する会計基準」等の適用にとまない、従来の「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称が変更になりました。

## ● 総資産



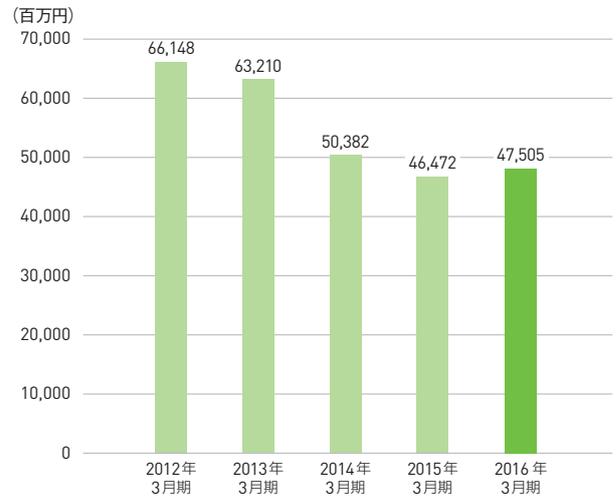
## ● 純資産



## ● 自己資本比率



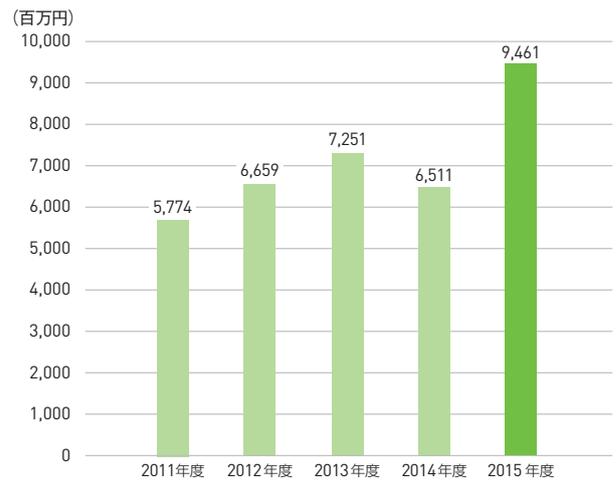
## ● 有利子負債



## ● 年間配当金



## ● 設備投資額



## ● 研究開発費



## ● 減価償却費



# 会社概要

## 日清オイリオグループ株式会社

### 会社概要

商号	日清オイリオグループ株式会社
本社	〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号
電話	(03) 3206-5005
資本金	16,332百万円 (2016年3月31日現在)
売上高	327,836百万円 (2016年3月期・連結)
従業員数	2,692名 (2016年3月31日現在・連結)

### 取締役および監査役 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	今村 隆郎	
代表取締役	石神 高	
取締役	藤井 隆	尾上 秀俊
	吉田 伸章	久野 貴久
	小林 新	
取締役(社外)	鳴沢 隆	白井 さゆり
監査役(常勤)	栢之間 昌治	太田良 猛
監査役(社外)	新谷 謙一	町田 恵美

### 国内事業所一覧

大阪事業場	〒531-0072	大阪市北区豊崎三丁目19番3号 ピアスタワー 8F	(06) 6376-5417
横須賀事業場(中央研究所)	〒239-0832	横須賀市神明町1番地	(046) 837-2400
横浜磯子事業場(横浜磯子工場)	〒235-8558	横浜市磯子区新森町1番地	(045) 757-5030
名古屋工場	〒455-0028	名古屋市港区潮見町37番地15	(052) 611-4111
堺事業場	〒592-8331	堺市西区築港新町3丁目37番地	(072) 243-2940
水島工場	〒712-8071	倉敷市水島海岸通三丁目2番地	(086) 448-3232
札幌支店	〒060-0063	札幌市中央区南三条西十丁目1001番地5 福山南三条ビル1F	(011) 261-0326
仙台支店	〒980-0011	仙台市青葉区上杉一丁目17番7号 仙台上杉ビル2F	(022) 266-1511
関東信越支店	〒370-0841	高崎市栄町14番5号 内堀ビル7F	(027) 310-2231
東京支店	〒104-8285	東京都中央区新川一丁目23番1号	(03) 5542-7807
名古屋支店	〒460-0004	名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄10F	(052) 957-8881
大阪支店	〒531-0072	大阪市北区豊崎三丁目19番3号 ピアスタワー 8F	(06) 6376-5351
広島支店	〒730-0015	広島市中区橋本町10番6号 広島NSビル8F	(082) 227-0311
福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神三丁目4番5号 ピエトロビル7F	(092) 751-3050
盛岡営業所	〒020-0034	盛岡市盛岡駅前通15番19号 盛岡フコク生命ビル8F	(019) 624-0611
郡山営業所	〒963-8004	郡山市中町1番22号 郡山大同生命ビル8F	(024) 923-4467
新潟営業所	〒950-0916	新潟市中央区米山三丁目2番11号 新潟米山MKD.5ビル3F	(025) 246-5981
長野営業所	〒380-0921	長野市栗田1010番地1 大成第一ビル3F	(026) 226-3813
埼玉営業所	〒330-0803	さいたま市大宮区宮町二丁目81番地 いちご大宮ビル4F	(048) 641-6441
西首都圏営業所	〒190-0022	立川市錦町一丁目8番7号 立川錦町ビル4F	(042) 526-1793
横浜営業所	〒235-8558	横浜市磯子区新森町1番地	(045) 759-3121
静岡営業所	〒420-0851	静岡市葵区黒金町11番7号 三井生命静岡駅前ビル3F	(054) 254-7348
北陸営業所	〒920-0856	金沢市昭和町16番1号 ヴィサージュ 8F	(076) 263-8680
四国営業所	〒760-0055	高松市観光通二丁目2番15号 第2ダイヤビル3F	(087) 862-5525
岡山営業所	〒700-0023	岡山市北区駅前町二丁目5番24号 JR岡山駅第2NKビル10F	(086) 222-8441
鹿児島営業所	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町6番地6 鴨池南国ビル11F	(099) 258-6111
横浜神奈川事業所	〒221-0036	横浜市神奈川区千若町一丁目3番地	(045) 461-0181

## 国内生産4拠点



横浜磯子事業場

敷地面積：233,100㎡



名古屋工場

敷地面積：98,800㎡



堺事業場

敷地面積：28,800㎡



水島工場

敷地面積：113,300㎡

## グループ主要会社（国内）

### 攝津製油株式会社

油脂・化成品の製造および販売、加工物流事業

### 日清商事株式会社

食料品、飼料、園芸・季節商材等の販売

### 日清物流株式会社

港湾運送事業、倉庫業、各種流通加工業および配送業

### 株式会社NSP

コンピュータシステムの開発、運用および管理の受託

### 大東カカオ株式会社

チョコレート原料の製造および販売

### 株式会社日清商会

油脂製品、食品大豆、冷凍食品等の卸売業

### 株式会社マーケティングフォースジャパン

流通分野におけるマーケティング業務および人材派遣

### 日清ファイナンス株式会社

生保・損保代理店

### 株式会社ゴルフジョイ

ゴルフ練習場の運営

### もぎ豆腐店株式会社

豆腐、油揚げ類の製造および販売

### ヤマキウ運輸株式会社

貨物運送、庫内荷役事業

### 日清オイリオ・ビジネススタッフ株式会社

建物内外の清掃業務ほか

### 株式会社ピエトロ

ドレッシング、パスタソース等の製造販売事業、レストラン事業、通信販売事業

### 和弘食品株式会社

調味料、天然エキス等の製造および販売

### 幸商事株式会社

油糧、油脂、洗剤、化成品、食品材料の販売

## グループ主要会社（海外）

### 上海日清油脂有限公司

植物油脂の販売

### 日清奧利友（中国）投資有限公司

中国における事業投資管理ならびに原材料調達および販売

### 日清奧利友（上海）国際貿易有限公司

ファインケミカル製品および食品の輸入販売

### Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.

パーム油脂、スペシヤリティファットの製造および販売

### Industrial Química Lasem, S.A.U.

工業用および化粧品用油脂等の製造および販売

### T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd.

製菓原料等の調製品の製造および販売

### 中糧日清（大連）有限公司

植物油脂、油粕の製造および販売

### 統清股份有限公司

マーガリン、ショートニング、加工油脂の製造および販売

### 張家港統清食品有限公司

マーガリン、ショートニング、加工油脂の製造および販売

※ 海外グループ会社については、P12-13の特集もご覧ください。

# 第三者意見

昨年に引き続き第三者意見を述べさせていただきます。昨年度版も読みやすかったのですが、今年度版はさらに文字数を減らし、図を増やすなどの細やかな配慮が施され、さらに読みやすく進化されています。よりよいコーポレートレポートとなるように、読者の声を真摯に受け止め、可能な限り反映させている努力を高く評価いたします。例えば、「発見！日清オイリオグループ」では図解が効果的に用いられ、日清オイリオグループの製品が社会のどこで使われているかがわかりやすく示されています。また、特集1の「スーパーエナジー 中鎖脂肪酸」は、以前の版で特集されたこともある内容だそうですが、昨今の様々な食用油の人気の高まりから、改めてもっとよく知りたいという声が高まったことを受けて、今年度版で再び特集されています。さらに、昨年度の第三者意見で提案させていただいた推奨点である「責任ある原料調達」と「海外拠点におけるCSR実績」についても、いち早く反映し、今年度版で掲載されているところにも、日清オイリオグループの誠実な企業姿勢がよく表れていると思います。

このように社外からの声を受け入れようとする努力は、ステークホルダーとのダイアログを初開催されたことにもよく表れています。社外のステークホルダーとの対話の場に、会社のトップが自ら出席するのは稀ですが、今回は今村社長も出席されてダイアログをされたことはとても素晴らしいと思います。ステークホルダーと会社とが直接対話することで、いろいろな気づきを得て、さらなる経営品質の向上を目指そうとされておられるのがよくわかります。今年度は中期経営計画の最終年度でもあり、次の新しいスター

トに向けて技術開発センターの新設や、国連グローバル・コンパクトやRSPOへの加盟など、海外事業の拡大を視野にいたした社会課題解決の試みもすでにされておられます。また、鈴鹿市における健康寿命延伸に向けた産学官連携も始められましたので、ここでのノウハウを日本だけでなく世界における社会課題解決にも応用できることを期待いたします。

推奨点があるとするれば、ビジネス上のリスクに対して、どう対応しているかについても表明されることです。グローバルでビジネスをしている以上、例えば、気候不順による収穫量減からの原材料調達リスクや、肥満や食習慣の誤解によって消費者がおちいりやすい健康リスクなどさまざまなリスクがあります。今は顕在化していなかったり、取扱い数量が少なかったりと、すぐには問題にならないこともあるかと思います。しかし、企業としてリスクを認識していたり、すでにリスクへの対応ができていたりするのであれば、そのことを積極的に開示されることをご検討ください。

CSRアジア 日本代表

赤羽 真紀子

通算10年以上、さまざまな業種の多国籍企業のCSR担当を経験し、スターバックスコーヒー・ジャパン、セールスフォースドットコム、日興アセットマネジメントで関連部署の立ち上げを手がけた。早稲田大学で政治学と生物学を修め、カリフォルニア大学リバーサイド校、タフツ大学、慶應義塾の各大学院で学ぶ。講演、第三者意見の執筆多数。2010年より現職。



## 第三者意見を受けて

今年度も当社の活動について大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。当社グループの活動をステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えしていきたいという想いを、赤羽先生から「誠実な企業姿勢の表れ」とご評価いただきましたことは、大変励みになりました。

初開催のステークホルダーダイアログにつきましても、ご評価いただき非常に勇気づけられました。今後も様々な形でステークホルダーと対話を進め、ステークホルダーに鍛えられることで、これまで以上に皆様の期待にお応えし、当社グループの企業の成長と発展につなげてまいります。

ご提案いただきました推奨点につきましても真摯に受け止めております。ビジネス上のリスクについては、現在のホームページ等での開示に加え、改めてよりわかりやすい開示の仕方を検討してまいります。

これからも、グローバル社会の一員として、企業の社会的責任を果たしていく所存でございます。

日清オイリオグループ株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

# 植物油とビタミンのおいしい関係

植物油は健康的な生活に欠かせない栄養素、ビタミンとも相性ぴったりです。  
植物油を上手に使うって効率的にビタミンを摂取しましょう。

## 植物油はビタミンEの大切な供給源！



抗酸化作用のある  
ビタミンEがたっぷり♪

日本人は、ビタミンEの約2割\*をサラダ油、マヨネーズなどの植物油から摂っています。このビタミンEには、抗酸化作用があり、老化の元凶ともいわれる活性酸素の働きを抑える働きがあります。また、血液の流れを良くしたり、肌荒れの予防にも効果があるといわれています。

\* 補助食品からの摂取を除く。



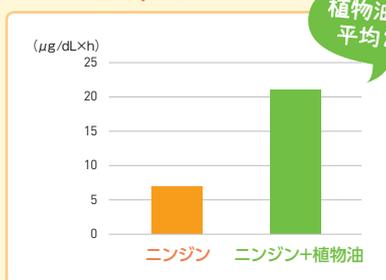
## 油と一緒にビタミンを摂りましょう！



油と一緒に摂って、  
ビタミンAの吸収率UP♪

ニンジン、ピーマンなどの緑黄色野菜に豊富に含まれているβ-カロテン(ビタミンA)は、水に溶けにくく、油に溶けやすい「脂溶性ビタミン」で、脂質が十分ないと体内に吸収できません。そのため、緑黄色野菜は、油と一緒に食べるとビタミンAの吸収率が高まり、栄養をむだなく摂取できます。

ニンジンを食べた場合の  
血中β-カロテン\*量



植物油と一緒に  
平均2.7倍UP!



油による短時間の加熱で  
損失は最小限に♪

ビタミンCは、抗酸化作用の高い栄養素ですが、水に溶けやすく、ゆでるといった調理で失われやすい特徴を持っています。植物油を使うと短時間で加熱調理できるので、ビタミンCの損失が少なくて済みます。



(Takeda.S et al. J Nutr Sci Vitaminol. 57: 209-15, 2011 より改変)  
\* 野菜中のβ-カロテンは体内でビタミンAに変換されます。

植物油についてもっと詳しく  
知りたい方はこちらをご覧ください！

「植物油のおいしいおはなし」  
<http://sodan.nisshin-oillio.com/pdf/book.pdf>



## 日清オイリオグループ株式会社

〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号  
お問い合わせ先: コーポレートコミュニケーション部  
TEL.03-3206-5109  
ホームページ : <http://www.nisshin-oillio.com>



この報告書は、印刷工程で有害な廃液を出さない、水なし印刷方式で印刷しています。  
またインキには、揮発性有機化合物を含まない、植物性のNon-VOCインキを使用しています。